

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富田林市立新学校給食センター	階数	地上2F
建設地	富田林市藤沢台二丁目5番の一部	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居地域、準防火地域	平均居住人員	115 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,260 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2016年12月1日
敷地面積	6,491 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン 臼井 千尋
建築面積	3,174 m ²	確認日	2016年12月1日
延床面積	3,092 m ²	確認者	(株)エネ・グリーン 定森 淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>周辺環境との調和を図り、ライフサイクルコストの削減に努めるとともに、維持管理についても留意し、清掃しやすく管理しやすい施設となるように配慮した。</p>	<p>その他</p> <p>太陽光発電設備を設置し、自然エネルギーの利用に努める。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>使用する材料は、ホルムアルデヒドなどの揮発性有機化合物等の化学物質の削減に努める。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>内部仕上について、機能・用途に応じて、必要な仕上げを行うものとし、安全性・耐久性・吸音性・居住性・美観性等についても十分配慮。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>条例に基づいて、緑地計画を行い、敷地内環境に配慮。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>複層ガラス及び「ヒートポンプ」高効率空調機器の採用。高効率機器のガスヒートポンプマルチエアコンの採用や、LED照明の採用で、省エネルギー化に努める。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型機器の採用、非躯体材料には、リサイクル材料を多用し、資源・マテリアルに配慮。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>車路は円滑な搬入、スムーズな駐輪・駐車となる動線計画に配慮。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0128

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	富田林市立新学校給食センター建設工事					
		建設地	富田林市藤沢台二丁目5番の一部					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★☆☆				2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					4.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.0	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		LED照明やガスヒートポンプ冷暖房を全体的に使用し、省エネルギー性能に配慮。 太陽光発電設備を設置し、自然エネルギーの利用に努める。						